

進路指導室より

【令和7年度終了まで、残り1か月】

2年次生の皆さん、ベネッセ総合学力テスト（1月）→河合塾全統記述高2模試→河合塾全統共通テスト高2模試→ベネッセ大学入学共通テスト（2月）とご苦労様でした。今年度全ての模試は終了です。特に、共通テスト模試では、いろいろな意味で良い経験ができたと思います。現在、大学入試期間中の君たちの先輩方も、そんな道を歩んできました。この2年間の経験が、3年次の模試に生きてきます。来年度の模試も戦い抜くことを期待します。

1年次生の皆さんも、ベネッセ総合学力テスト（1月）→河合塾全統高1模試・駿台全国模試とご苦労様でした。君たちも、今年度全ての模試は終了です。「定期考査」の勉強に加えて「+α」の勉強が必要だと痛感したことと思います。各々が「+α」の必要性が認識できればいいのです。あとは、各々の「+α」が具体的には何なのかを考えてもらいたいと思います。来年度も君たちなりに「+α」を活かして戦い抜くことを期待します。

【スタディサプリ到達度テスト WEB 春受検のお知らせ】

『到達度テスト』を受検して、**つまずき箇所を確実に明らかにしませんか？そして、受検後の『連動課題』で、そのつまずき箇所を解消してみませんか？**では、以下の要領で実施します。

- 対象：新入生全員・新2年次生全員・新3年次生全員
- 日程：新入生 4/18（土）@学校・新2年次生 4/11（土）@学校
- **新3年次生は各自で 3/24(火)~4/7(火)で実施です。**
- 受検方式/科目：学校で Web 受検/国語・数学・英語 **※新3年次生は学校以外で受検です。**

WEB 受検という形式ですが、必ず全員受検してもらうために、あえて春受検は学校で実施します。ただ、**新3年次生はベネッセ模試の日程の都合、学校で受検する時間が確保できません。新3年次生のみなさんに、自主的な実施を託します。つまずき箇所を確認する最後のチャンスです。**受検方法等の詳細は後日進路指導室から発信します。

また、「Basement」という到達度テストの出題範囲を事前学習できるドリル教材（紙冊子で数学・英語・国語）を3月中旬に配布します。配布されたら、春休みを待たずに取り組んでかまいません。

①「Basement」を用いてテスト範囲の思い出し学習

→②到達度テストを受検して、思い出し学習をしてもなおつまずいている箇所の把握

→③配信された連動課題で、つまずき箇所の克服

のイメージをもって、「Basement」に取り組むとよいでしょう。

【3年次生の大学入試途中経過（2月20日時点）】 以下の大学・学部合格しています！

【国公立大学】※一般入試・学校推薦型・総合型（内の数字は人数）

○弘前 農学生命 ○筑波 体育 ○千葉 教育 ○埼玉県立 保健医療福祉(6)

○埼玉 教育 ○横浜国立 経営 ○防衛大学校 理工 ○信州 医(看護)

[私立大学(一部)] ※一般入試・学校推薦型・総合型

- 上智 外国語・文
- 明治 総合数理・法・理工・商・国際日本・情報コミュニケーション・経営・政治経済
- 東京理科 先進工・工・理 ○学習院 国際社会・文・経済・理 ○青山学院 文・教育人間科・法・理工
- 立教 コミュニティ福祉・文・スポーツウェルネス・理・経済・法・社会・観光 ○中央 文・法
- 法政 人間環境・経済・法・文・国際文化・デザイン工・理工・スポーツ健康・経営
- 立命館 映像 ○芝浦工業 工・システム理工・建築 ○工学院 工・建築・情報
- 明治薬科 薬 ○星薬科 薬 ○順天堂 薬・医療看護 ○日本獣医生命科学 獣医
- 日本女子 理・食科・文・人間社会 ○東京女子 現代教養 ○津田塾 総合政策・学芸
- 北里 理・未来工 ○東京農業 国際食料情報・地域環境科学
- 明治学院 経済・国際・社会・心理・文 ○東京電機 理工・システムデザイン工・工・未来科学
- 成城 社会イノベーション ○成蹊 理工・経済・経営・法 ○武蔵 経済・人文・国際教養・社会
- 國學院 法・文・経済・神道文化・人間開発
- 日本 法・理工・文理・スポーツ科学・経済・生産工・芸術・薬
- 東洋 健康スポーツ科・理工・文・経済・社会・情報連携・生命科・経営・法
- 駒澤 経営・経済・文・仏・法・グローバルメディアスタディーズ ○専修 商・文・経営・経済
- 獨協 経済・国際教養・外国語・法 ○文教 教育・人間科・国際・文・外国語
- 日本赤十字看護 看護



【進路指導室より】

皆さんは自分の将来像を描くとき、何を手掛かりにしますか。「自分の強み、例えば得意科目を伸ばし、活かそう」、「自分の個性、例えば興味をもっと深めよう」、様々なアプローチが考えられます。でも、その場合に、世の中の動向もしっかり見つめることもとても重要です。つまり、10年後の日本が必要とする人材とは、どんなものだろうと考えることです。そのためには、ニュースを見ること。そして新聞を読むことです。最近、新聞を購読されていない家庭も増えていますが、学校の図書館にも全国紙を複数用意しています。週に1回で十分です。新聞を広げて、今、日本で、世界で何が起きているかを「眺める」のです。

「眺める」というのは、全てを丹念に読まなくても、見出しを俯瞰するだけで良いということです。目に飛び込んでくる様々な見出しの中から、自分が興味を持ったことを選んで、記事を読むことです。できれば、同じ話題を複数の新聞で読み比べてみると、様々なものの見方があるということに気付き、ならば自分はどうか考えるかという思考力が養われます。こうした力を身につければ、今学んでいることを自分の力で深めることができるようになります。

3年次生の秋になって、小論文の添削や面接の練習のために進路指導室を訪ねる人が増えていますが、こうしたバックボーンを身につけた人は、少し添削しただけですっきりした文章が書けるようになります。週に1回、見出しを「眺め」に図書館を訪れましょう。

